

1 基本理念

公教育の使命を自覚した教職員の組織力によって、常に生徒を教育の中心にすえ、一人一人の実態にあった指導内容や方法の改善に努め、保護者や地域社会の負託に応える。

生徒にとって 「学びたい学校」
 教職員にとって 「働きたい学校」
 保護者・地域にとって 「通わせたい学校」



学校・保護者・地域の連携と一体化
チーム「八鹿青溪」

2 基本方針

- 先人の築いてきた「ふるさと養父市八鹿町」の豊かな自然、文化、歴史に学び、郷土への愛情と誇りを育てるとともに、基礎・基本を身に付け、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざす。
- 技術革新やグローバル化が急速に進展する中、夢と志を持ち自らの可能性に挑戦し、豊かな人生を切り拓いて生きていくために必要な力を身に付けた生徒の育成をめざす。

生徒・教職員・学校
 ・授業が分かる ・活躍の場がある ・仲間がいる ・居場所がある ・夢や志がある
 ・教育への情熱を持つ ・能力を発揮できる ・達成感がある ・子どもや保護者に信頼される
 ・安心、安全である ・落ち着いた学習環境である ・子ども-教師-家庭-地域がつながり高め合う

校訓

「貫徹 慎独 創造」

校是

「和」

学校教育目標

**ふるさとを愛し 自らを高め
 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成**

養父市のめざす子ども像

- 勤労を尊び、夢や目標を持って、誠実に粘り強く取り組む子
- 課題の発見・解決に向け、自ら学び、考え、高め合い、支え合う子
- ふるさと養父市の未来を見据え、地域に主体的に参画しようとする子

めざすべき具体像

<p><めざす生徒像></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「貫徹」 困難に負けず粘り強くやり抜く生徒 ・活力ある行動力の育成 ・健やかな身体づくり ・地域貢献の実践 ○「慎独」 心豊かで思いやりのある生徒 ・人権尊重と慎独の精神の育成 ・道徳的実践力の習得 ・郷土愛の育成 ○「創造」 自ら学び個性を伸ばす生徒 ・主体的な学びと確かな学力の向上 ・豊かな表現力の育成 ・地域文化の学びと継承 	<p><めざす学校像></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ楽しさを感じる学校 ・学習環境の整備 ・授業規律の確立 ・小中一貫教育の推進 ○やる気と活気にあふれる学校 ・自尊感情、自己有用感の育成 ・個別最適、協働的な学びの実施 ・個に応じた指導の充実 ○信頼され、安心・安全な学校 ・危機管理体制の充実 ・保護者、地域との連携の強化 ・相談体制の充実(生徒・保護者・学校) 	<p><めざす教職員像></p> <ul style="list-style-type: none"> ○信頼される教職員 ・高い使命感、倫理観、授業力 ・誠実かつ迅速な行動 ・生徒への共感的理解 ○教育愛に燃える教職員 ・学び続ける教職員 ・高めあい協働する教職員 ・師弟同行：生徒と向き合い、生徒と共に汗を流す教職員 ○研修に励む教師 ・教えるプロとしての資質能力と指導力を高める教職員
---	---	---

推進の重点目標と具体的な取組

1 自立して未来に挑戦する態度の育成

- ①校訓を生かした教育活動を推進する。
→ 校訓の理念を互いに共有する取組の実践(「貫徹坂」「慎独の道」「創造の庭」で心を育む取組等)
- ②「あたり前のことがあたり前にできる生徒」の育成を図る。
→ 基本的な礼節、全力清掃、時間励行等(語先後礼、無言清掃、2分前行動等の徹底)
親子で育む『5つの生活習慣』(早寝・早起き、規則正しい食事、あいさつ、片付け、読書)の奨励
- ③「自己教育力」を育むための主体的活動を推進し、自立心を高める。
→ 生徒会活動、学年・学級活動、部活動等における主体的活動、自治的活動の推進
生徒会スローガン、月別目標の設定における教職員と生徒が一体となった取組の推進
「そうあんくんの日」と「そうあん先生の教え」の取組と小中連携した自主学習の取組の充実

2 「生きる力」を育む教育の推進

□「確かな学力」の育成

- ①「個別最適な学び」「協動的な学び」に向け、「主体的・対話的で深い学び」となる授業を創造する
- ②“学力の三要素”を踏まえ、「指導と評価の一体化」を確立する
- ③情報活用能力(情報モラルを含む)の育成、ICTを活用した学習指導の充実
- ④兵庫型学習システムを活用した個別指導の充実と全国学力・学習状況調査の有効活用
- ⑤授業規律の徹底(姿勢・返事・いきいきとした表現、聞く態度)
- ⑥慎独タイム(朝読書・朝学習)の継続・充実、自主学習の取組の推進

□「豊かな心」の育成

- ①道徳科での対話的な学び、命の尊厳や人権尊重の精神、規範意識を高める指導の充実
～YABUスクールチャレンジ事業の活用～
- ②兵庫の防災教育、国際理解教育、伝統・文化活動、福祉体験活動等の充実
- ③やぶふるさとキャリア教育、兵庫型「体験教育」、兵庫型「キャリア教育」の充実

□「健やかな体」の育成

- ①保健体育の授業や体育的行事を基盤とした体力・運動能力の向上
- ②健康・安全教育の推進、性教育・感染症対策の充実
- ③栄養教諭や家庭、地域と連携した食育の推進

□特別支援教育の充実

- ①校内支援委員会開催による指導方針の共通理解、共通実践、通級指導の充実
- ②個別の支援計画、個別の指導計画に基づく着実な指導や合理的配慮の充実
- ③保護者やスクールカウンセラー、専門機関との連携と通級指導教室の適切な実施

□小中一貫教育の推進

- ①9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進
- ②高柳小、八鹿小、伊佐小、宿南小と教育目標及びめざす15歳像の共有化
- ③5つの力点の共通実践
(1)挨拶(語先後礼)・返事ができる。(2)全力でそうじをする。(3)はきものをそろえる。
(4)そうあんくんの日の取組を進める。(5)地域活動に積極的に参加する。

3 生徒の学びを支える環境の充実

□学校の組織力の強化と生徒指導の充実

- ①生徒会活動や学級活動での生徒との人間的なふれあいによる心の絆を深める生徒指導
- ②風通しの良い職場環境づくり。ICTの活用による共通理解、共通実践(報連相)の徹底
- ③立ち番、日記指導、生活アンケート、i-check等を活用した生徒の内面理解、生活指導委員会、不登校対策委員会の定期開催、いじめ・問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応の取組
- ④スマートフォンやゲーム等、ネットメディア利用についての指導の徹底と保護者への注意喚起
- ⑤子育て応援課やスクールソーシャルワーカーと連携した家庭支援の推進

□家庭・地域による学校と連携した教育の推進

- ①学校運営協議会を核に地域人材を活用した教育活動の展開と地域活動(クリーン作戦・防災訓練・地区運動会等)への積極的参加・参画
- ②家庭と連携した「そうあんくんの日」(第2・第4水曜)・「創造の日」や「八鹿青溪の日」(毎月8日:八鹿青溪中の教職員・生徒としての自分を振り返る日)、お手伝い(お手伝い大作戦)の推進
- ③オープンスクールの実施、学級・学年・学校通信(校報)の発行、ホームページの更新等による学校情報の発信

□教職員の資質・能力の向上

- ①日々の研鑽による実践的指導力の向上と「チーム八鹿青溪」として協働・認め合う職場づくり
- ②「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を推進するための校内研修の充実
- ③教育公務員としての自覚と高い倫理観の保持、「No!体罰」の徹底、生徒と心の通い合う温かい人間関係の構築
- ④勤務時間の適正化(定時退勤日の徹底・会議時間の短縮・業務改善)の推進による「ワーク・ライフ・バランス」の充実と生徒と向き合う時間の確保

